

施工例

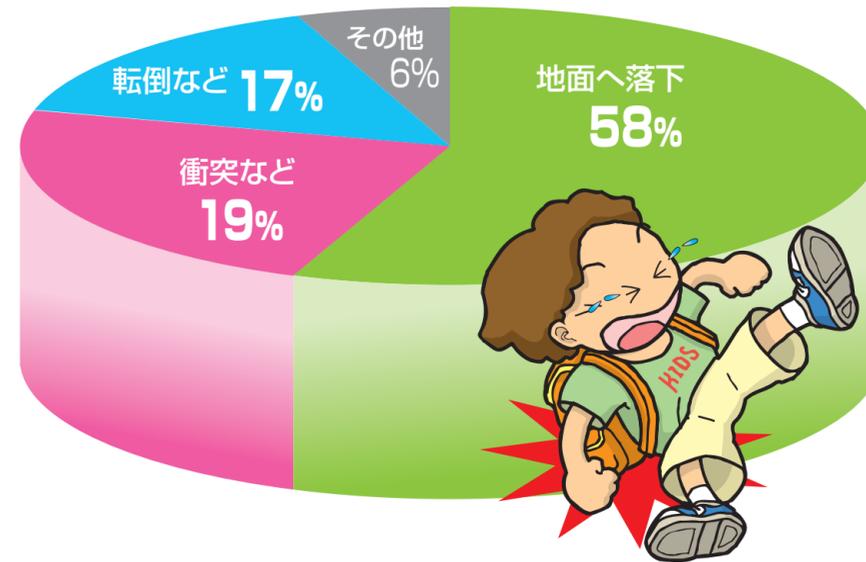
施工前→施工後のほんの一例です



不慮の事故から 園児を守る

事故の形態

遊具によって起きている事故については、その約60%が「落下」や「転倒」であることが、統計で明らかになっています。地表面の状態と落下する高さが、事故に繋がる可能性を左右するということです。



ゴムチップ弾性舗装 セーフティスペース

「セーフティスペース」は、特性の違う2種類(表層:カラーチップEPDM・基層:ヒジキゴムSBR)を組み合わせることによってゴムの持つ弾力性、衝撃吸収性などの機能を高め、予想される高さから落下した衝撃を、脳に深刻なダメージを与えない衝撃吸収性能を有し、子どもたちを思いがけないケガから守ります。また、起伏の激しい地形に対して追従性を有する現場施工型の弾性舗装材で、日常のメンテナンスも容易になり子どもに安全、大人に安心な環境整備をいたします。

■敷設自由度の高い現場施工タイプ

■目地が無く、美しい舗面を構成することが可能です

特注仕様

標準色以外の特注色やゴムチップの粒径変更、表面トップコート処理の対応についても可能です。
尚、標準仕様、特注仕様ともに納期・詳細については、弊社営業担当者へご確認ください。
品質向上のため、色は予告なく変更することがあります。

仕様・セーフティスペース(現場施工型)

分類	厚み・重量
セーフティスペース10	t=10mm、9.0kgf/m ²
セーフティスペース15	t=15mm、13.5kgf/m ²
セーフティスペース50	t=50mm、28.5kgf/m ²
セーフティスペース70	t=70mm、38.4kgf/m ²



さらに、安心
さらに、安全
だから、安全

カラーバリエーション



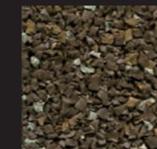
グリーン混合



レッド混合



ベージュ混合



チョコ混合



サンドベージュ混合



レモン混合



オレンジ混合



シャガールブルー混合



グレー混合



ライトグレー混合



ライトブルー混合

落下事故対策

として遊具下には必需品

衝撃吸収性

カラーチップEPDM・ヒジキゴムSBRの2層構造により、ゴムの持つ弾力性、衝撃吸収性などの機能を高め、脳に深刻なダメージを与えない衝撃吸収性を有しています。

防滑性

ゴム素材は乾燥状態では滑りにくく、湿潤状態においては滑りやすいというイメージがありますが、ゴム材をチップ状にすることにより歩行安全性に優れた舗装材となっております。

歩行性

ゴムの持つ弾力性、衝撃吸収性、ひざへの負担を軽減し、快適な歩行感が得られます。

透水性

透水性に優れ、水溜まりや跳ね返りがなく、また雨水の還元により環境保護に役立ちます。

施工性

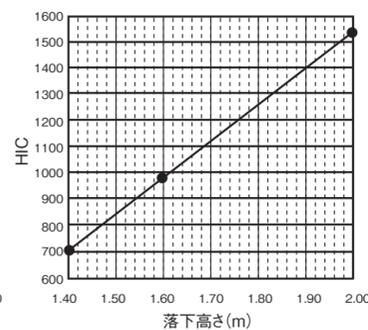
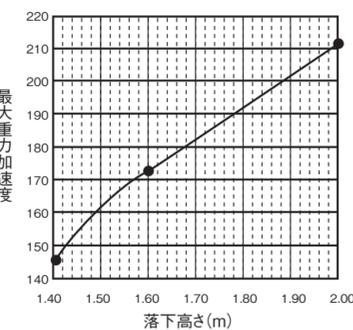
起伏の激しい地形や複雑な地形でも対応可能で、施工時間の短縮や材料のロスもほとんどありません。

デザイン性

施工面に絵柄や文字などのパリエティーに富むオリジナルデザインも盛り込むことも可能です。



遊具マット評価グラフ



【臨界高さ】HIC（頭部損傷係数）が1000を越えない最大落下高さを「臨界高さ」と定義し、自動車の衝突安全基準にも用いられ、人体に対する衝撃値の目安とされています。「臨界高さ」以下の落下であれば脳に深刻なダメージは無いとされています。

※セーフティスペース50の数値となります。

遮熱ゴムチップ

夏の暑さ対策必需品

遮熱とは太陽の光を反射させて蓄熱を抑える働きのこと。太陽の光エネルギーは、物に当たって熱エネルギーへと変化し、そのものの温度を上昇させます。いわば、電子レンジのメカニズムと同じです。遮熱ゴムチップは、このメカニズムに注目したもので、太陽光を多く反射することで温度上昇を最小限に抑制します。

太陽の光エネルギーは、約50%が赤外線、約47%が可視光線、残りの3%は紫外線から成り立っています。遮熱チップの果たす役割は、太陽光による赤外線を効率よく効率よく反射させることにあります。

赤外線：熱線とも呼ばれ、あらゆる物質に吸収されやすい波長領域で、吸収された光エネルギーは熱へと変わります。

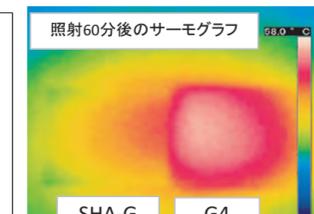
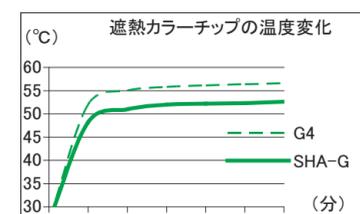
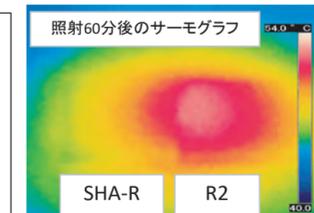
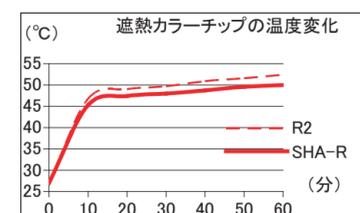
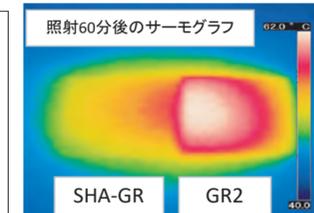
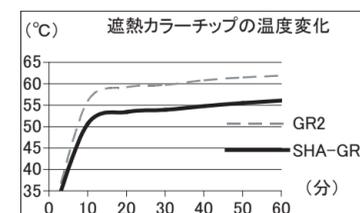
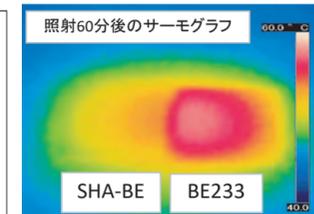
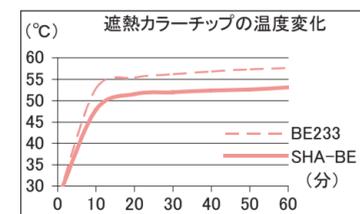
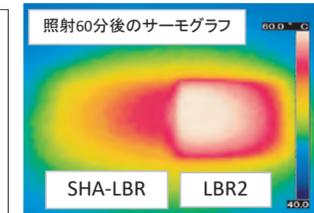
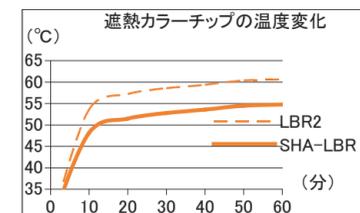
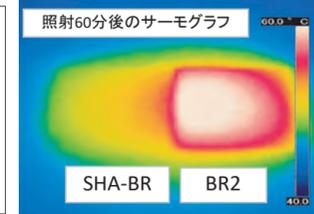
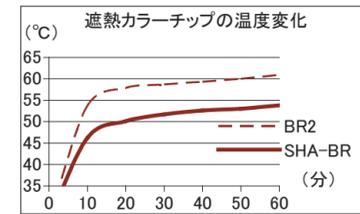
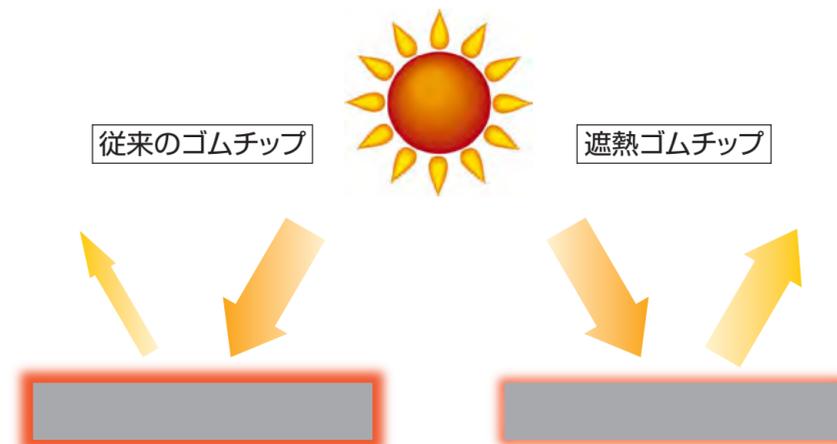
可視光線：人間が色として認識できる波長領域です。

紫外線：科学線とも呼ばれ、塗膜劣化の原因となります。日焼けもそのうちの一つです。

ゴムチップは、大きく分けて主成分のEPDM（耐候性に優れたゴムの種類）とフィラー（物質の特性を表すための添加物）に分かれます。

遮熱ゴムチップは、従来のゴムチップと比較すると主成分のEPDMは同じですが、フィラーを赤外線反射効率の高いものに変更することによって、多くの赤外線を反射するため、その分の熱エネルギーの吸収を抑えることができ、温度上昇を抑える効果が得ることができました。

よって、従来のゴムチップの弱点であった蓄熱性を抑制することができ、夏場のプールサイド、テラス等の素足で歩行する環境にも適するようになり、屋上での使用においては、階下のエアコン設定温度の抑制効果をもたらし、省エネやヒートアイランド効果にも貢献し、CO2の排出量の削減にもつながります。



遮熱ゴムチップ カラーバリエーション



SHA-チョコ混合



SHA-ベージュ混合



SHA-レッド混合



SHA-グリーン混合

☆測定方法：ビームランプ照射試験

☆測定器：FLIR i5（サーモグラフィー試験機）